

今週のビルマのニュース 2011年4月15日 (1113号)
水かけ祭り始まる EUが制裁を延長、一部緩和 米国は特使任命へ

【ビルマ国内】

- ・ 17日に新年を迎えるビルマでは13日に水かけ祭りが始まった。昨年ラングーン（ヤンゴン）の水かけ祭り会場で爆弾爆発事件があったため、警戒態勢が強化。また政府は「人の尊厳を直接・間接に傷つける恐れのあるタンジャ（囃し歌）や歌唱その他の行為を禁止する」との通達を出した。（13日 AP、ミジマほか）

【国際関係】

- ・ EUは12日、ビルマに対する制裁措置を一年間継続する決定をした。ただし同国での新政府の発足を受け、外相など一部の大臣・副大臣に対して資産凍結・査証発禁措置を取らないことにした。またEU高官のビルマ訪問禁止も解除。その他の措置（金融・貿易制裁、武器禁輸、政府への開発援助供与の禁止など）はこれまで通り。（欧州連合理事会決議本文）
- ・ オバマ米大統領は14日、デレク・ミッチェル国防副次官補をビルマの特別代表・政策調整官に任命した（ホワイトハウス）。米国は2008年成立の法律により、対ビルマ政策の調整などを行う特使を置くことになっている。ブッシュ前大統領は元国家安全保障会議アジア上級部長のマイケル・グリーン氏を任命したが承認手続きが完了しなかった。ミッチェル氏が承認されれば初の特使となる。
- ・ タイの国家安全保障会議の事務局長が11日、ビルマで文民政府が発足したことを受け、同国との国境にある難民キャンプを閉鎖し難民を帰還させる計画だと発言した。翌12日にアピシット首相が「安全が保障されるまで送還はしない」と述べたものの、支援団体などは「[タイと国境を接する]ビルマ東部で戦闘が続いており、難民が安全に戻れる状況ではない」と懸念を表明（12日 AP、11日 AFPほか）。タイのビルマ国境沿いには9か所に難民キャンプがあり、現在も約14万人が暮らす。
- ・ 在日ビルマ人民化運動家が10日、東京で「東日本大震災及び津波被害者への祈りの会」を開き、仏教、キリスト教、イスラム教の指導者たちとともに祈りを捧げた。また57の個人・団体から義援金144万円が集まり、今後各被災地へ送られる。（15日ビルマ市民フォーラム）

【政府開発援助（ODA）】

- ・ 新たな発表はなし。

【注目アイテム】

- ・ 【シャン女性行動ネットワーク（SWAN）他によるプレスリリース】「シャン州北部でビルマ国軍が北部シャン州軍（SSA-N）を攻撃、多数の民間人が巻き込まれる」（12日）
SSA-Nの攻撃を避けるためにシャン民族女性や少女を盾のように使うなど、国軍の民間人への残虐行為が深刻で、これまでに約3,000人が避難民となった。詳しい情報や、人権侵害発生地を示す地図などは以下：
http://www.shanhumanrights.org/index.php?option=com_content&view=article&id=307:action-update
- ・ 米務省が2010年版人権報告書を発表（8日）。ビルマ部分は以下：
<http://www.state.gov/g/drl/rls/hrrpt/2010/eap/154380.htm>
- ・ 「グローバル・トレイルブレイザー賞」を受賞したアウンサンスーチー氏のメッセージ（映像、4分）。
<http://www.youtube.com/vitalvoices#p/u/3/yTXT6VnAziQ>

【イベント情報】（ [] 内は主催者。共催等は省略）

- ・ [国民民主連盟（NLD）解放地域日本支部] 放射能についての講演会 講師：山村淳平医師（港町診療所）ほか（池袋・健康プラザ7階、24日9～12時）*在日ビルマ人向け説明会、使用言語はビルマ語。
- ・ [ビルマ民主化同盟（LDB）] 「ビルマ水かけ祭 ダジャン」20店舗が出店予定、入場無料（日比谷公園小音楽堂、5月15日10時～17時）

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>